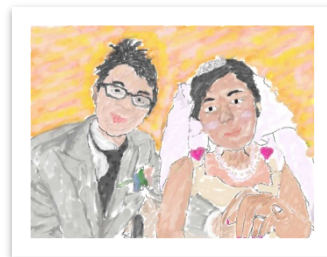


結婚1周年 ～10大ニュースで振り返る刀根夫婦の2015年～

刀根徹朗(32)&実幸(28)夫婦が2015年10月、結婚1周年を迎えた。「感謝祭」と銘打った結婚披露宴で約束した「ちかいの言葉」。結婚指輪に刻印された「いまをいきる」にちなんであいうえお作文をつくった。「を…夫を大事にします」「る…ルールを守ります」はあまり守られていないように夫の徹朗は感じている。一方、「い…命を大切にします」「ま…まっすぐ家に帰ります」「い…飲酒運転は絶対にしません」「き…きっとかなう夢を追いかけます」—これらの誓いは夫婦で心をつなげて取り組んでいる。ケンカと仲直りを繰り返し、苦しいことや悲しいことも経験しつつ、多くの人たちに支えられながらいろんな経験を重ね、無事に新年を元気に迎えることができた。2015年を10大ニュースで振り返る。



第10位 義姉がご懐妊 「次は私かな」(実幸)「ちょ、ちょっとちょっと…」(徹朗)

「せーまお兄さん」の愛称で親しまれている実幸の兄、河津聖駒さん(31)の妻、真理さん(31)のお腹に新たな命を授かっていたことが分かった。出産予定日は2016年1月22日。実幸は生まれて初めて叔母さんになる。自分のことのようにうれしく、「早く生まれてこないかな～。楽しみ」と、甥っ子の誕生を心待ちにしている。兄夫婦の結婚式のスタイルをまねた「感謝祭」を開いた実幸にとっては自分の妊娠が待ち遠しい様子。「真理ちゃんに子どもができるから、私もほしい」と言い続ける実幸。気の早い妻に「僕の手は2本しかないのに…(笑)。ま、まずは、じっくりと人生設計を…」と汗をかく徹朗。

第9位 ネット番組で華世さん、まっとなさんと共演 Wカップルに会場ほっかほか

インターネット番組「^{オール} ^{バイ} ALL BY 日田」に12月、夫婦で出演。福岡を中心に活躍するタレントの山本華世さん、実幸と同じ筋ジストロフィー患者のまっとなさん(福岡県)と共演した。実幸の活動をずっと応援してくれている華世さんは、2016年版の実幸カレンダーを紹介したほか、刀根夫婦の馴れ初めについて質問。徹朗が「うんざりすることもあるが、命と向き合いながら前向きに生きているところが好き」と答えれば、実幸は「てっちゃんのすべてが好き」と告白し、会場をうっとりさせた。また、まっとなさんの彼女も登場。こだわりの手料理や趣味のイラストなどについて話が弾んだ。放送の終盤では実幸のオリジナル曲「そら」を会場全員で歌い、大いに盛り上がった。



放送のあった飲食店「炭焼ダイニング^{ザイオン} ZION」は2階にあるが、「ALL BY 日田」が誇る力自慢、穴井さん&北島さんが車いすを抱えて補助した。「筋肉エスカレーター」として日田市のバリアフリー現場を支えている。

「ALL BY 日田」は毎月第1火曜日午後8時半から放送。動画サイト「ニコニコ動画」に登録し、「ALL BY 日田」で検索すれば見られる。

第8位 済生会病院が障害者用駐車場を改善 実幸記者が行く 日田市のノンバリアフリー現場

実幸が記者となり、済生会日田病院にある危険な通路を4月に現場レポートし、動画で発信したところ、改善のための工事がされた。インターネットの交流サイト「Face book」に投稿した動画の再生回数は1600回を超えた。「街に出て声を上げることで街が変わるということがわかった」と実幸記者。バリアフリーの日田市になるため、小さな行動を続けている。



実幸記者が注目したのは済生会日田病院の障害者用駐車場から出る通路。傾斜のある通路を直進しなければならず、車いすでは倒れる危険性があった。実際に車いすで通った場面を動画で撮影し、「斜めになるから怖い」とレポート。徹朗が済生会病院への意見投稿フォームから改善を求めたところ、後日、担当者から「済生会本部から連絡を受け、直ちに危険注意の表示を行った。通路改善のため早期に改修工事に着手したい。危険箇所のご指摘をいただき、ありがとうございました」と連絡があった。

第7位 風船バレー大会で3位入賞に貢献 実幸の駄々アタックさく裂

ユニバーサルスポーツの風船バレーの大会「第21回大分県身体障害者福祉センターふうせんバレーボール大会」（5月・大分市）に夫婦で出場し、3位に輝いた。障害の程度の重い人と軽い人、健常者がコートで一緒に専用の風船ボールを追いかけ、チーム全員でタッチするのがルール。実幸選手は電動車いすを上手に動かしてヘディングでボールをつき、チームに貢献。仲間の強烈なサーブやスマッシュで順調に得点を重ね、「日田うめぐり」チームは見事、3位を勝ち取った。

大会出場を前に、夫の徹朗選手が鳥栖アウトレットで運動シューズを購入。実幸選手は「私もほしい!!」といつも^{だだ}の駄々をこね、結局、徹朗選手よりも高額なピンクのシューズを手に入れた。当然、車いすで出場した実幸選手のピンクのシューズが体育館コートを踏むことは一度もなかったが、気分を良くしたため、^{きびん}機敏な動きができた。

実幸選手は「仲間同士で風船バレーをすることはあっても、大会に出るのは初めてだった。最初は緊張したけど、チームのみんなが応援してくれたからうまくできた」と満面の笑みを浮かべた。

第6位 夫婦で人生初の路上ライブに挑戦!! 旅の詩人須永博士さんと共演

刀根夫婦が5月、日田市天瀬町のJR天ヶ瀬駅前で人生初の路上ライブに挑戦した。きっかけは、実幸が小学校のころに出会い、人生の折々で支え続けてもらっている旅の詩人須永博士さん(72)が背中を押してくれたことだった。ライブ当日はあいにくの空模様だったが、刀根夫婦の友人や家族が駆けつけ、須永さんの即興作詩パフォーマンスが花を添え、大成功?を収めた。

ライブでは、実幸のオリジナル曲を中心に披露。初恋の彼が空に昇ったときの気持ちを歌った「そら」、みんなの希望になりたいという実幸の気持ちを表現した「ひかりになりたい」、いつも支えてくれる家族への感謝を伝える「ありがとう」などを熱唱した。須永さんは刀根夫婦の音楽に合わせ、2作品を書き上げた。実幸の母への気持ちを代弁した作品では、「母へ わたしはわたしの道を生きています お母さんありがとう これからも わたしを見守ってください」と書き上げた。徹朗について書いた和紙には「なぜあなたは そんなにも優しく生きられる あなたは凄い あなたは本物の人間です 男です」という詩が踊った。

「楽しかったです。もう1回やりたいです。須永先生のポエムもよかったです」と意気揚々の実幸。徹朗も「いろんな人と対面するライブと言葉の魅力にあ



らためて気づけた。やみつきになりそう」と話した。

須永さんの詩は次の通り。

母へ
 わがママを ゆるして下さい
 どれだけ わたしの事で
 涙をながさせたか
 わかりません
 そのたびに
 母はぐつとこらえて
 がまんしてくれた事を
 わかっていません
 今こうして
 わたしが生きていられるのも
 母のおかげです
 母へ
 わたしはわたしの道を
 生きています
 お母さん ありがとう
 これからも わたしを
 見守って下さい
 2015年5月9日
 刀根実幸さん
 大分県天ヶ瀬温泉路上ライブにて

刀根徹朗
 なぜあなたは
 そんなにも
 優しく生きられる
 そんなにも自然体で
 人間の愛が出せる
 そんなにも自分の心に
 素直に生きられる
 刀根徹朗
 あなたは凄い
 あなたは本物の人間です
 男です
 2015年5月9日
 大分県天ヶ瀬温泉
 刀根実幸路上ライブにて
 須永博士 旅の詩人

第5位 東京の一流ホテルで缶詰め!? 人気作家並みの体験をしたインフルエンザの奇襲

楽しみにしていた1月の東京旅行が一変した。徹朗の大学の友人の結婚式に出席するため、夫婦で東京に向けて出発。これまでに何度も体験して慣れていた飛行機の搭乗もすんなり終わった。今思い返せば、この時から病魔はするりと私たちの背後に迫っていた。いつもより高い体温が気にはなっていたものの、実幸が「大丈夫!!」と押し通していた。「厚着で熱が体にこもっていただけかも…」という徹朗の甘い予測は見事に外れた。

結婚式前日、新婚の友人夫婦らと東京ディズニーランドで遊ぶ予定だったため、羽田から夢の国へ。異変が起こったのは「リロ&スティッチ」のアトラクションが終わった直後。「寒気がする。腰が痛い」と言い出した実幸の顔色はみるみる悪くなり、急きょ「カリブの海賊」横の医務室へ。検温すると高熱。「寒い」と訴える実幸に看護師さんたちが優しく看病をしてくれ、近くの病院や介護タクシーの手配をしてくれた。ホテル近くの病院に向かう前、看護師さんに実幸のカレンダーをプレゼントした。「ありがとうございます。かわいい、大切に使います」と言ってくれたこととあの笑顔が唯一の救いだった。

夢の国から一気に現実の世界に引き戻された。品川の病院で検査をしたところ、見事にインフルエンザA型の陽性反応。処方してもらったタミフルを飲み、自力で電動車いすを運転できるまで回復していたため、楽天トラベルで予約していた病院近くのホテルに向かった。2泊3日の予定がおよそ1週間の長期滞在に。結婚式の後日、友人の政岡泰雅さん(32)が見舞いに来てくれた。レストランウェディングのため、車いす対応のための様々な配慮を事前にもしてもらっていただけに、ハレの舞台に出席できず残念だったが、式を終えたすがすがしい友人の顔が見られ



てうれしかった。

インフルエンザから肺炎を患うことが心配されたが順調に回復し、大分に帰ってくる事ができた。航空券の再手配や座位保持のための上体ベルトの確保など、face book で友人から情報提供してもらい、大きな支障なく帰宅できた。旅にトラブルはつきものだが、こんなのは二度とごめんだ。（徹朗談）

第4位 若年性認知症フォーラムに出演 夫婦で活動の幅を広げる

若年性認知症について考えるフォーラムが10月、日田市のパトリア日田であった。主催者から依頼を受け、イラストレーターの実幸がチラシとイメージイラストを作成し、徹朗がパネリストとして登壇した。夫婦の取り組みに共感する人が現れ、活動の幅が広がっている。

フォーラムを主催したのは、特別養護老人ホームを運営する花月園の川浪和恵さんら。「やさしいまちづくり～認知症の方を支えるための取り組み事例とこれから」をテーマに意見発表し、徹朗は実幸の介護体験や、子どものころから音楽活動に取り組んできたことを発表し、「障害者でも認知症でも、できることはあるはず。できるようになる工夫やその努力をし続けることが大切」と紹介。実幸は認知症のテーマカラーのオレンジを基調にしたハートのイラストを描き、「心をつなごう」と手書きのメッセージを添えた。会場では、実幸のイラストをTシャツにして販売。レターセットやカレンダーも紹介し、多くの来場者が買い求めた。フォーラムの様子は地元のケーブルテレビ局 KCV で実幸のイラストとともに放送された。



実幸は「てっちゃんが私の事を紹介してくれたからうれしかったです」と喜んでいる。

第3位 思わぬハプニングも大切な思い出に 伊勢志摩バリアフリースーツアールセンターが支援

日根夫婦が8月末から新婚旅行に出発し、約10日間の日程を無事に終えた。旅行先は、徹朗の実家の伊勢市のほか、実幸が長年、行きたがっていた吉本新喜劇やユニバーサルスタジオジャパン、中学の修学旅行で訪れた京都の清水寺など。自宅に戻った実幸は長旅の疲れを見せることもなく「これは新婚旅行じゃない!!ハネムーンはまた別に行くの!!」と相変わらずわがまま放題である。

旅行にトラブルはつきものだが、今回のトラブルも大物だった。それは徹朗の実家の三重県伊勢市の観光地、二見ヶ浦の旅館でのこと。バリアフリー対応の部屋があるため予約したが、館内が全面畳敷きだったため、手押しの軽い車いすに乗り移る必要があるとのことだった。上体固定ベルトを使用している実幸にとって、不慣れな別の車いすで過ごすことは困難で、そもそも固定ベルトもないため簡易的な手押し車いすは使えなかった。やむなくキャンセルしたものの、徹朗の両親と合わせて4人が宿泊できるホテルを探すのは至難の業。そこで私たちを助けてくれたのが NPO 法人 伊勢志摩バリアフリースーツアールセンター（鳥羽市）だった。

同センターは障害者らの旅行をサポートするため、観光客の要望を聞き、行きたい場所に行けるようにさまざまな手配をしてくれる団体。日曜の夕方、予約先を探すには難しいタイミングだったが、家族4人が宿泊できるバリアフリーのホテルを手配してもらえた。このセンターは、旅行中に参加予定だった乙武洋匡さんらがパネリストとして登壇するフォーラムの主催団体。

センターの野口あゆみ事務局長に大変、お世話になった。路頭に迷う寸前だった私たちを、様々な観光関係者とのネットワークを生かし、



楽しい旅行にいざなってくれた。野口事務局長のご主人、野口幸一副理事長も車いすを利用する障害者だった。2人とも車いすで行ける観光マップを作成するなど、バリアフリー観光のパイオニアとして活躍している。障害者も健常者も高齢者も子育て世代の家族も、誰もが暮らしやすい世の中をつくっていくために、障害者やその仲間が声を上げること、行動し続けることの大切さをあらためて考えることができた。

実幸は「ハプニングもあったけど、とてもめっちゃ楽しかったです。また行くぞ~!! バリアフリーのマップを日田でもつくってみたい」と、旅行先での出会いから新たなパワーをもらっていた。

第2位 講演会で伝える命の大切さ 「目指せ東京進出!!」

2015年も実幸たちは小学校や公民館などで「命の大切さ」を伝えるための講演活動を続けてきた。「その中で印象に残っているのは6月の昭和学園高校の講演会」と実幸。実は高校受験の時にチャレンジしたのが同校だった。「高校受験の結果は残念賞だったけど、講師としてみんなの前で話ができよかったです」と振り返る。

実幸は、看護師を目指す学生を前に、自分が入院していた時に実習で病院に来ていた学生が親切に看護してくれた体験を紹介。「私が食べ物やたんが喉に引っかかったときの対処法をノートにまとめてくれた。高校に進学した後も先生にそのノートを見せて、たんの取り方などのスクリーニングの説明に使っていた。私の事を真剣に考えてくれたのがうれしかった」と伝えた。今後、実習をひかえた学生にとって実のある講話だったようで、「患者さんのことを第一に考えられる看護師になります」などと感想文につづってくれた。



2015年は、これまでの講演会のやり方を変え、台本（虎の巻）を使わずに生の言葉で伝えることに挑戦した。「虎の巻を読んでいると、みんなの顔が見えない。ちゃんとみんなに伝わっているか見たいから、台本じゃなくて自分の言葉でしゃべることにした」という。写真と要点をまとめたスライドを使い、徹朗の質問に答える形で講演をした。「ドキドキしたけど、うまくしゃべれたので、今の調子でまた講演会に出て、私たちの生き方を広めていきたいです」と実幸。

2016年は東京での講演や障害者のお母さんたちが集まる会、同じ病気の筋ジストロフィーの子どもを持つ保護者らに、わかりやすく実幸の気持ちや生き方を伝えていくことが目標。「東京での活動を広めたい!!」（実幸）

第1位 ソロプチミスト日本財団の社会ボランティア賞受賞 チャリティーカレンダー12年目の快挙

2004年から毎年、続けている実幸のチャリティーカレンダーの活動が認められ、奉仕団体の「ソロプチミスト日本財団」から社会ボランティア賞を受賞した。11月、四国の高松市で贈呈式があり、夫婦で出席。同賞に推薦してくれた国際ソロプチミスト福岡南の皆さんをはじめ、多くのメンバーや受賞者に実幸の活動を紹介することができた。

推薦の候補にしてくれたのは、毎年、チャリティーカレンダー活動を支援してくれている福岡市の林麗子さん。推薦の案内をメールでもらった実幸は大喜びし、「ぜひ推薦してください」と即答。贈呈式では、緊張しながらもステージに上がり、福田千鶴子理事長から表彰状を受け取った。実幸は「たくさんの人たちの前でドキドキしたけど、うれしかった」と喜んだ。

ほかの受賞者の活動を知り、交流できたことも刺激になった。わざわざカ



レンダーを購入してくれた方や、実幸の取り組みを紹介したNHKの番組「ハートネットTV」の放送を見て声をかけてくれた方、そして、授賞式に向けて多くのお世話をさせていただいた林泉さんなど、ソロプチミスト福岡南の皆さんに感謝したい。

うどん県として有名な香川県。贈呈式翌日の高松市内観光で実幸が食べたのは、なぜか博多ラーメン。「だって食べたかったんだもん」という実幸はお土産で大好きなカレーうどんを買い、後日、家族でつるつるしこしこのカレーうどんに舌をうならせた。

2015年の刀根夫婦の取り組み一覧

1月	<ul style="list-style-type: none"> ○東京で実幸がインフルエンザ。東京ディズニーランドで発熱し、ホテルに缶詰め。 ○高瀬公民館人権講演会。 ○書道シンガーソングライターの友近 890(やっくん)と出会う
2月	<ul style="list-style-type: none"> ○実幸の誕生日(2月3日)。大分キワニスクラブの皆さんが講演会でお祝いをしてくれた。 ○三和小学校講演会。
3月	<ul style="list-style-type: none"> ○オールバイ日田の花見バーベキュー参加。 ○山本華世さんと大山でばったり再会。実幸のイラスト付きのエコバッグをプレゼント。 ○三芳小学校のお楽しみ会に招待され、ホットケーキ作りで交流。 ○ベトナム枯葉剤被害児支援機構に寄付金を持参。
4月	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの頃、実幸にパソコンを教えてくれた野崎先生と再会。 ○国際ソロプチミスト福岡南の林麗子さんと林泉さんが実幸の自宅を訪問。オリジナル曲「そら」演奏。 ○お友達の小学生の詩月ちゃんと「映画クレヨンしんちゃん」を久留米市まで見に行く。 ○済生会日田病院の駐車場問題を実幸が動画レポート。少し改善される。 ○徹朗の大学の後輩が店長をしている「夜カフェ10」（別府市）に初めて行く。バリアフリーで快適。
5月	<ul style="list-style-type: none"> ○風船バレーの大会に出場し、3位入賞。 ○須永博士美術館（熊本県小国町）でミニライブ。卓球選手の尚子さんに絵葉書プレゼント。 ○須永博士さんと天ヶ瀬温泉街で路上ライブ。 ○徹朗の大学後輩の吉村悠子ちゃんと博多散策のため、電車で博多駅に行く。映画コナン、ランチ、スタバ満喫。 ○川開き観光祭で花火大会見物。
6月	<ul style="list-style-type: none"> ○結婚式の引き出物にフェアトレード商品を選んだとして「ネバリ・バザーロ」の通販カタログに掲載。実幸のカレンダーの取り組みも紹介される。 ○昭和学園高校専攻科で看護師を目指す学生に講演。 ○シンガーソングライターmon(もん)さんのライブが天瀬町のいつま中学校であり、初対面。 ○桂林公民館で講演会。 ○フリーマーケットなどのイベント「日田いち」でライブ。
7月	<ul style="list-style-type: none"> ○アフリカのブルンジとケニアで地雷や紛争で手足をなくした人に義足をつくる団体「ワンラブプロジェクト」のルダシングワ真美さん夫婦の講演会（湯布院）に参加。寄付金を託す。 ○風船バレーチーム「大山うめぐり」のメンバーと一緒に大山小学校で風船バレーを教える。 ○日田祇園まつりを見学。徹朗は山鉦を曳いた。「にぎわいの音が面白かった」（実幸）。 ○日本舞踊やフラメンコなどの多彩なダンスの祭典「ザ バサロー舞」に出演し、「そら」を披露。

8月	<ul style="list-style-type: none"> ○新婚旅行で三重県の伊勢、鳥羽、京都市の清水寺、大阪の吉本新喜劇、USJ、神戸を満喫。 ○オートポリス（日田市上津江町）であったママチャリレースに出場した聖駒お兄ちゃんや同級生の応援。 ○弟翔馬のライブ。 ○脳性まひで、実幸のことを慕ってくれている「まーちゃん」と別府発達医療センターで出会う。 ○おすすめ本を紹介し合う大会「ビブリオバトル」に実幸が出場し、2位に!!（3人中）。 ○サッポロビール九州日田工場であったフラダンスフェスティバルを林泉さん夫婦と楽しむ。 ○カラオケで実幸が自分でマイクを持てたことが判明。 ○聖陵ストリームの夏祭りでエコバッグとレターセットを販売。 ○平和ウォークに参加し、市内を回った。 ○九重“夢”大吊橋を恐る恐る渡り、記念写真撮影。
9月	<ul style="list-style-type: none"> ○別府市のNPO法人を訪問。「別府八湯温泉道名人会」と「自立支援センターおおいた」の事務所を訪ねる。 ○障害者支援施設「ひばり〜ヒルズ」の秋祭りでレターセット販売、お友達の下駄王子の誕生日会で和風飲食店「四つ角」で食事。みんなが車いすを抱えてくれて入店。 ○スーパームーンに感動。
10月	<ul style="list-style-type: none"> ○認知症フォーラムでチラシとイラスト作成。 ○高瀬人権フェスティバルで友近 890 に再会。 ○熊本保健科学大学で作業療法士を目指す学生に講演。熊本城の見えるレストランで昼食。森本先生に感謝!! ○結婚1周年記念。刀根は仕事。子ども服と絵本のお店「ちゃいるどるーむ」であったウクレレライブを見学。 ○車いすで行ける飲み屋を散策しようと飲み歩く。 ○手料理に挑戦（はるまき、肉うどん、生春巻き、ふわふわ卵オムレツなど）
11月	<ul style="list-style-type: none"> ○石井小学校ののみの市でカレンダー販売。障害児の入学で学校がバリアフリー化。 ○宇佐支援学校の学習発表会（文化祭）でまーちゃんと再会。カレンダーとレターセットをプレゼント。 ○ソロプチミスト日本財団の社会ボランティア賞授賞式に出席。新幹線と特急列車で香川県に。 ○天領まつりのフリマでカレンダー販売&路上ライブ。 ○オールバイ日田のみんなが結婚1周年とソロプチミスト受賞をお祝いしてくれた。
12月	<ul style="list-style-type: none"> ○日田支援学校にカレンダーをプレゼント。 ○フラダンスのディナーショーに参加。カレンダーを販売。 ○三芳小学校で講演会とカレンダー販売。 ○JR天ヶ瀬駅前の喫茶&雑貨店「あまがえる」であった歌声喫茶にゲスト出演。オリジナル曲を披露。 ○インターネット番組「オールバイ日田」に出演。山本華世さん、まっとうさんと共演。 ○カレンダーを日田市内の全小中学校の各クラスと保健室にプレゼント（296部）。 ○認知症の悩みや家族同士の交流などをする「オレンジカフェ」に参加。「そら」などを歌う。 ○森本先生とやな場で忘年会。大きな鮎と地鶏鍋のうまさに感激。 ○別府発達医療センターで言語聴覚士(ST)の桜井先生に初めて診てもらう。

「2016年も夫婦でけんかしても仲良くして健康で頑張っていきます。応援お願いします」実幸
「苦楽を共にしながらも、明るい方に歩いて行ける心強さを身に着きたいです」徹朗

〒877-0202 大分県日田市大山町東大山 2141 刀根徹朗/実幸
Tel 090-7678-1697（徹朗） / Tel 080-8359-4928（実幸）